

## 令和4年3月定例教育委員会会議録

令和4年2月25日 定例熊谷市教育委員会を熊谷市役所3階303会議室に招集する。

- 出席者  
野原 晃、大石 聡一、加藤 道子、松島 佳代子、
- 出席事務局  
教育次長 鯨井 敏朗  
教育総務課長 長谷川 和博  
学校教育課長 爪川 由美子  
社会教育課長 三友 孝二  
社会教育課文化財保護・  
市史編さん担当副参事 吉野 健  
教育総務課副課長 浅見 弘江  
教育総務課主任 吉場 美和

### 13時25分 3月定例教育委員会開会

教育長から、令和4年3月定例熊谷市教育委員会の開会の宣言があった。  
教育次長から、齋藤委員の欠席について報告があった。  
教育長から、傍聴希望者がいないことの確認があった。  
2月定例教育委員会の会議録については出席委員全員の承認を得た。  
教育長が、本日の会議の会議録の署名人に、大石委員を指名した。  
議案第8号から議案第10号は人事案件となるため、非公開としたい旨の発議があり、出席委員全員が賛成し、非公開とすることに決定した。

#### **日程第1（報告第3－1号）寄附申出について**

教育総務課長から、ふるさと納税で「熊谷教育の推進のため」として、1月11日から2月10日までに1件、金額にして1万円の寄附申出があったとの報告があった。また、匿名を希望される方から、秦小学校に大判プリンター1台と、東プレ株式会社から、市内全小・中学校に各1台、除菌装置を寄贈いただいたとの報告があった。

#### **日程第1（報告第3－2号）3月教育委員会行事予定について**

教育総務課長から、市立小・中学校の卒業式は、中学校が3月16日、小学校が3月24日にそれぞれ開催を予定しており、新型コロナウイルスの感染状況に鑑

み、出席者は原則、卒業生、教職員、及び保護者のみとし、感染予防対策を徹底の上、規模を縮小して開催するとの報告があった。

また、3月臨時教育委員会は3月31日に、4月定例教育委員会は翌4月1日に行うとの報告があった。

### **日程第1（報告第3－3号）3月市議会定例会における教育委員会関連の議案の概要について**

教育総務課長から、市議会における教育委員会関連の議案について説明があった。

まず、条例改正として、「熊谷市入学準備金貸付条例」について、民法の一部改正により成年年齢が引き下げられることに伴い、令和4年4月1日から、本条例で定める保証人の年齢要件を、「満20歳以上」から「満18歳以上」に引き下げる条例改正を行うとの説明があった。

次に、補正予算の歳出として、寄附金を活用して小・中学校の図書館に図書を整備する「図書館図書等整備事業」、大幡小学校、佐谷田小学校、中条小学校、別府中学校、奈良中学校のトイレについて、洋式化等改修工事を行う「トイレ整備事業」、新型コロナウイルス感染症の影響で、収益が減少したスポーツ・文化村「くまびあ」等の指定管理者に支援金を交付する「「STOPコロナ」社会教育施設運営支援事業」、新型コロナウイルス感染症対策や、学習機会を保障するための物品等を購入する「「STOPコロナ」学校感染症対策事業」、新型コロナウイルス感染拡大により、影響を受けた子育て世帯を応援するため、給食食材の価格上昇分を市が負担し、保護者の負担増を無償化する「「STOPコロナ」子育て世帯学校給食応援事業」等について、説明があった。

なお、小・中学校の「トイレ整備事業」、「「STOPコロナ」学校感染症対策事業」、及び「「STOPコロナ」子育て世帯学校給食応援事業」は、いずれも国の補正予算等に対応するため、翌年度に予定していた事業を今年度事業として前倒しして計上するもので、その全額を翌年度に繰り越すとの説明があった。

補正予算の歳入では、令和3年10月から12月までに受け入れた寄附金のほか、小・中学校の「トイレ整備事業」の財源として借り入れる「学校施設整備事業債」、歳出で説明した翌年度事業を前倒しした事業分に係る「学校保健特別対策事業費補助金」及び「学校施設環境改善交付金」について、歳入補正するとの説明があった。

最後に、繰越明許費として、12月補正予算で計上した「小学校校舎大規模改造事業」に係る工事請負費について、翌年度に繰越すとの説明があった。

### **日程第 1（報告第 3－4号）令和 4 年度教育関係予算主要事業について**

教育総務課長から、令和 4 年度の教育関係予算の主要事業について説明があった。

「暑さ対策」通学で日傘をさそう事業」は、児童の熱中症予防を目的に、オリジナル日傘を制作し、小学生全員に配布を行うものであるとの説明があった。

また、多子世帯の経済的負担の軽減のため、第三子以降の給食費を無償化する事業「総合戦略」学校給食費第三子以降無償化事業」では、第一子の年齢要件を現在の「15歳以下」から、令和 4 年度は「18歳以下」とし、支援対象を拡大して実施するとの説明があった。

そのほか、教育環境向上のため、校舎や体育館等の学校施設の照明をLED化する「小学校・中学校照明LED化の取組」、囲碁文化の普及のほか、ラグビータウン熊谷及び国宝指定10周年を迎える歓喜院聖天堂を中心とした観光資源を広くPRするため、5月に熊谷スポーツ文化公園ラグビー場で開催される、第77期本因坊戦第2局、及び対局記念行事等について、開催費用の一部を補助する「第77期本因坊戦熊谷対局実施事業」、熊谷の歴史、偉人、食文化、自然環境等を伝える資料について、4K技術、ドローン撮影等を活用した記録映像を制作し、保存・編集した情報を発信していく「市民協働「熊谷の力」歴史ロマン映像アーカイブス事業」、スポーツ・文化村「くまびあ」に、オンライン会議、無観客試合等に対応するため、人工芝グラウンドや多目的グラウンド、体育館等にフリーWi-Fi環境を整備する「スポーツ・文化村Wi-Fi環境整備事業」等について説明があった。

### **日程第 1（報告第 3－5号）公益財団法人熊谷市文化振興財団 令和 4 年度事業計画書について**

社会教育課長から、公益財団法人熊谷市文化振興財団の事業計画書及び収支予算書について説明があった。

事業計画の主なものとして、公益目的事業では、交響楽団等の育成事業、芸術文化活動における参加促進のための事業、舞台芸術等の鑑賞事業を計画しており、収益目的事業では、施設の貸館や図書館業務の受託が主な内容であるとの説明があった。

なお、当該計画書は、3月市議会定例会において、地方自治法に基づき報告するもので、財団の理事会及び評議会において、既に議決済みであるとの説明があった。

### **日程第 1（報告第 3－6号）教育長職務代理者の指名について**

教育総務課長から、令和 4 年 4 月 1 日からの教育長職務代理者について、教育長

が、加藤道子委員を指名したとの報告があった。

**日程第 2（議案第 7 号）熊谷市立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例施行規則の一部を改正する規則**

教育総務課長から、本議案は、独立行政法人福祉医療機構が実施している、年金担保貸付制度が終了することに伴い、当該規則で定めている年金証書の様式から、年金担保に関する文言を削除する規則改正であるとの説明があった。

なお、施行日は、令和 4 年 4 月 1 日とし、3 月 1 日公布予定であるとの説明があった。

（議案は原案どおり可決）

**（その他）後援等承認決定した事業一覧について**

教育総務課長から、1 月 1 6 日から 2 月 1 5 日までに、後援等承認決定した事業が 6 件あったとの報告があった。

**日程第 2（議案第 8 号）～（議案第 1 0 号）**

（非公開）

（議案は原案どおり可決）

ほかに報告はなく、教育長の宣言により、令和 4 年 3 月定例熊谷市教育委員会を閉会した。

（1 4 時 0 5 分 閉会）

署名 教育長 野原 晃

委員 大石 聡一